

標 題 : Erectile dysfunction and cardiovascular risk factors in a  
Mediterranean diet cohort  
地中海食事コホートにおける勃起不全および心臓血管系の危険因子

---

著 者 : R. Ramírez, et al. (所属の記載なし)  
Xarxa de Unitats de Lípids i Arteriosclerosi (XULA) Investigators Group..

---

掲 載 誌 : Intern. Med. J. 46(1): 52-56 (2016)

---

要 旨 :

背 景 : 勃起不全は世界中で1億人以上の男性に影響し、有病率の大きな変動がある。  
地中海地域住民において、勃起不全(ED)との関連で、心臓血管系の危険因子、  
生活様式および食事との全体的な関連は不足している。

目 的 : 勃起不全の有病率および関連する要因を、心臓血管系の危険因子がある糖尿  
病でない患者の地中海住民コホートで評価すること。

方 法 : カタロニア地方(スペイン)の心臓血管系リスク部門で治療した40歳を超える  
患者の観察、横断研究。  
身体計測データ、危険因子、生活様式および食事習慣を記録した。  
勃起不全を「国際勃起機能スコア」を用いて評価した。

結 果 : 440人の患者を収録し、186人(42.3%)が勃起不全であった(24.8%が軽度、  
6.8%が中程度で10.7%が重症)。  
勃起不全の存在と重症度は、年齢、肥満、ウェスト周囲、高血圧、抗高血圧  
治療および虚血性疾患と関連した。  
勃起不全のある患者には、喫煙者、運動不足およびアルコール摂取の多い人  
が多かった。  
多変量解析で、ナッツの摂取(>週2回)(OR 0.41(95%CI 0.25-0.67))および  
野菜の摂取(1日に1回以上)(OR 0.47(95%CI 0.28-0.77))は勃起不全と逆相関  
した。  
肥満(BMI $\geq$ 30kg/m<sup>2</sup>)(OR 2.49(95%CI 1.48-4.17))、虚血性疾患(OR 2.30  
(95%CI 1.22-4.33))、アルコール摂取(1日にアルコールユニット2以上)  
(OR 1.14(95%CI 1.04-1.26))、および年齢(歳)(OR =1.07(95%CI 1.04-1.10))  
は、勃起不全と直接関連した。

結 論 : 勃起不全は、カタロニアの脂質部門で心臓血管系の危険因子を治療した患者  
によく見られる疾患である。  
この疾患は、年齢、肥満、虚血性疾患、および不健康な生活習慣と関連する。

キーワード : 地中海食事、心臓血管系の危険因子、勃起不全

---